

日本農業気象学会2023年全国大会 & ISAM2023 Program
2023年3月16日

A会場		B会場	C会場
9:00	【OS-B】 気候変動の適応・緩和や持続可能な食料・水に資する農業気象学研究 オーガナイザー：増富祐司（国環研），滝本貴弘（農研機構），飯泉仁之直（農研機構） OS-B-1 飯泉仁之直（農研機構） 主要作物のフェノロジーイベントを含む全球栽培暦データプロダクトの開発 OS-B-2 眞崎良光（農研機構） 全球適用可能なイネの収量把握に向けた複数データソース結合の試み OS-B-3 野崎乃倫子（農研機構） 小規模農家に関連した持続可能な開発目標のモデル推計と気候変動の影響評価 OS-B-4 吉田龍平（福島大） 日本のコメ産出額が地球温暖化によって受ける影響の予測 OS-B-5 井上 聡（農研機構） 気候変動時のりんご「ふじ」の北海道導入可能性 OS-B-6 滝本貴弘（農研機構農環研） 白米熟粒発生率低減のための高温耐性品種の導入に関するシミュレーション OS-B-7 増富祐司（国環研） 田んぼのミステリー - 白米熟粒を減らすには？ -	座長：藤内直道（愛媛大） 9:10 原田陽子（徳島県立農林水産総合技術支援センター） シンビョウム生産における環境情報の利用 9:25 北野雅治（高知大） 葉面对流センサの開発とその特性 9:40 大橋雄太（農業・食品産業技術総合研究機構） センサー故障検知および異常出力値補正機能を有する環境計測システムの開発 9:55 本條 毅（千葉大） 360度カメラとスマホ用魚眼レンズを用いた天空率測定 10:10 中屋 耕（電中研） フォトグラメトリによる林床植物の定量と植食動物による影響の評価 10:25 休憩 座長：原田陽子（徳島県立農林水産総合技術支援センター） 10:40 齊藤 誠（国立環境研究所） GOSATシリーズによる全球炭素収支推定 10:55 大場 真（東北工業大） 森林点群データを用いた樹木個体モデルの開発 11:10 濱 侃（千葉大） 深層学習を用いた花の嗜好性評価モデルの構築 11:25 黒瀬義孝（農研機構・西日本農業研究センター） デンシオメータの測定限界を打破する測器の開発と改良 11:40 澤野耕平（信州大） 衛星データを用いた諏訪湖における浮葉植物と沈水植物の分布域の推定	
11:55	休憩	11:55 休憩	座長：野村浩一（高知大）
13:00	【OS-A】 施設園芸におけるAI・データサイエンスの利用 オーガナイザー：松田 怜（東京大学），地子智浩（電力中央研究所） OS-A-1 星 岳彦（近畿大） 施設園芸生産と知的情報処理応用の変遷・展望 OS-A-2 荊木康臣（山口大） AI画像解析の園芸作物生産での活用 OS-A-3 岩尾忠重（高知大） IoP(Internet of Plants)でのAI利用と課題について OS-A-4 藤内直道（愛媛大） 施設栽培トマトの光合成・蒸散および成育状態の計測、分析、活用	【OS-C】 最近の陸域フラックス観測研究の動向 オーガナイザー：岩田拓記（信州大学）、平田竜一（国環研），植山雅仁（大阪公立大学） OS-C-1 大久保晋治郎（北海道大） 熱帯泥炭林における乱流フラックス観測 OS-C-2 小野圭介（農環研） 群落内濃度に基づく水稲メタン発生強度の推定 OS-C-3 高橋けんし（京都大） 湿地性樹木の樹幹からのメタン放出について－最近の動向および我々の研究－ OS-C-4 高橋善幸（国立環境研） 熱帯泥炭地のアブラヤシプランテーションにおけるバーム油工場排水処理池からの温室効果ガス排出の現地観測 OS-C-5 山田 基（信州大） 浅い富栄養湖からのメタン放出の 経年変動の制御要因 OS-C-6 岩田拓記（信州大） 諏訪湖における一酸化二窒素放出量の日変化と変動要因 OS-C-7 岡村沙南（大阪公立大） 大阪府堺市の中心部におけるNO2フラックスの時空間変動の解明	13:00 岡田将誌（国立環境研究所） 水稻の生育・生長状況に応じた気候変動に伴う洪水による減収推計 13:15 岩井雅裕（九州大） チャ芽の凍霜害リスクに対する温暖化の影響予測 ～CMIP5モデルに基づく時空間特性の評価～ 13:30 西森基貴（農研機構農環研） 気候変動適応策と社会経済シナリオを考慮した日本におけるコメ生産の将来像 13:45 石井一夫（公立諏訪東京理科大） 気象データをもちいた気候変動にともなう野菜の収穫量の影響調査 14:00 村上貴一（農研機構・北海道農業研究センター） 垣根栽培醸造用ブドウの生育期間光合成量の気候変動応答解析 14:30 休憩 座長：森 牧人（高知大） 14:45 谷 晃（静岡県立大） 育苗施設における夏季の環境要因がワサビ苗の生育におよぼす影響 15:00 石郷岡康史（農研機構・北海道農業研究センター） CMIP6気候シナリオによるわが国の水稻生産および品質への影響と適応効果 15:15 神谷有咲（京都大） ヒノキ林における過去20年間の蒸発散変動 ―渦相関法および多層モデルを用いた解析― 15:30 関 航太郎（明治大） 灰色低地土の水田におけるイネ根の発達が温室効果ガス放出量に与える効果 15:45 馬鋭麒（北海道大） 長期温暖化実験による北海道最北の森林泥炭地における三年間の土壌CO2とCH4フラックスの変化 16:00 細井文樹（東京大） 内視鏡を用いた樹洞内部の3次元計測手法の開発 16:15 真木太一（九州大名誉教授） 日本の代表的な局地風 S O の気象特性と近年の地球温暖化の影響 16:30 休憩 17:00 80周年特別セッション「農業気象学における観測・計測およびモデル研究：現在位置と将来展望」 1）「作物の環境応答のモデリング：施設園芸分野における現状と課題」野村浩一（高知大学） 2）「長期観測データからの深い情報抽出と多点解析による情報の一般化」植山雅仁（大阪公立大学） 3）「農業気象学における観察の重要性：葉面結露のモデル化を例にして」丸山篤志（農研機構） 18:30
15:00	休憩	15:00 休憩	
		座長：村上貴一（農研機構・北海道農業研究センター）	
15:15	【OS-D】 農家に近年定着した技術の開発・定着過程における障壁とその打開策 オーガナイザー：小沢 聖（明治大学） OS-D-1 広田知良（九州大） 土壌凍結深制御による野良イモ対策における開発・普及のプロセス OS-D-2 小沢 聖（明治大） 寒締め栽培の普及過程で起きた無理解で安易な社会現象 OS-D-3 横山 仁（防災科研） ナシの霜害対策へのドローン活用の可能性 OS-D-4 小林和彦（東京大） 「イノベーションの普及」で見る気候変動対応	15:15 北野雅治（高知大） 作物生理生態 Hybrid AI Model の効用について	15:15
		15:30 木村賢人（帯広畜産大） アイスシルターの貯水室内に導入される自然冷気の流れの解析	15:30
		15:45 地子智浩（電力中央研究所） 量子ドット（QD）を蛍光体として用いた葉菜類の人工光栽培	15:45
		16:00 大石直記（静岡県農林技術研究所） 人工光型育苗システムにおける植物重量給液制御によるトマト苗のコンパクト化	16:00
		16:15 彦坂晶子（千葉大） オゾン曝露による薬用植物スライズの葉位別生理活性物質濃度の経日変化	16:15
		16:30 松嶋卯月（岩手大） 有機質資材を含む土壌における植物根の中性子イメージング	16:30
16:45		16:45	17:00
18:30	若手研究者の会 『若手研究者による異分野間の共同研究に向けて』 広田 知良 先生（九州大学）「共同研究：これまでの経験と方法論」 谷 晃 先生（静岡県立大学）「境界領域は自分てつくる」 石郷岡 康史 先生（農研機構 北海道農業研究センター）「共同プロジェクトによる異分野の研究連携の紹介」		80周年特別セッション「農業気象学における観測・計測およびモデル研究：現在位置と将来展望」 1）「作物の環境応答のモデリング：施設園芸分野における現状と課題」野村浩一（高知大学） 2）「長期観測データからの深い情報抽出と多点解析による情報の一般化」植山雅仁（大阪公立大学） 3）「農業気象学における観察の重要性：葉面結露のモデル化を例にして」丸山篤志（農研機構）
20:00			

日本農業気象学会2023年全国大会 & ISAM2023 Program
2023年3月17日

A会場		B会場		C会場	
Chairperson: Mitsuru Tsubo (Tottori Univ.)		座長：鈴木賢士（山口大）		座長：平田竜一（国立環境研究所）	
9:00	Hiroki Oue (Ehime University) Specificities in the stomatal conductance and canopy temperature of Himenorin compared with the other three rice cultivars	9:00	落合悠介（信州大） 北方林の森林火災による土地被覆変化が対流性降雨の特性に与える影響	9:00	坂部綾香（京都大） 大気中メタン濃度に対する土壌メタン吸収量の応答
9:15	Nazif Ichwan (Ehime University) Evapotranspiration and water use efficiency under the different water levels on three Japonica rice cultivars	9:15	高山 成（大阪工業大） 近畿圏における一雨降水イベントの時空間的な経年変動の解析	9:15	辰己賢一（東京農工大） アジアにおける地表面メタン排出がオゾン濃度および穀物に与える影響
9:30	Augustine Ukpoju (Ehime University) Effect of plant spacing on crop coefficient for estimating evapotranspiration on Japonica rice	9:30	水上真望（大阪工業大） 関西都市圏を対象とした領域気象モデルWRFによるヒートアイランド構造の解析 ～夏季の地上気温分布からみたモデルの妥当性について～	9:30	Yang Chun Jet（信州大） 異なる自生性有機物の添加に対する富栄養湖堆積物中のメタン生成応答の違い
9:45	Taufiq Yuliawan (Ehime University) Comparison of production and grain quality of rice under double-row and tile transplanting system	9:45	横山 仁（防災科学技術研究所） 2022年6月2 日に埼玉県で発生した降ひょうによる農業被害	9:45	後藤優治（明治大） 安定炭素同位体を用いた水田土壌の夜間CH ₄ 生成過程の評価
Chairperson: Munemasa Teramoto (Tottori Univ.)		座長：高山 成（大阪工業大）		座長：植山雅仁（大阪公立大）	
10:00	Satoshi Kawakita (Western Region Agricultural Research Center/NARO) Multivariate analysis of factors affecting variation in protein content of the bread wheat cultivar ‘Setokirara’ in Western Japan	10:00	中野智子（中央大） モンゴル国における植物バイオマスと降水量の時空間変動	10:00	平田竜一（国立環境研究所） 各種熱帯泥炭林のCO ₂ /CH ₄ フラックスの比較
10:15	Patthasarun Pruksarojanakul (The University of Tokyo) Effects of air temperature after gene transfer on the factors related to the accumulation of a vaccine antigen protein in <i>Nicotiana benthamiana</i> leaves	10:15	根本 学（農研機構北海道農業研究センター） 相対湿度を用いた濡れ時間の推定について	10:15	鈴木優里（新潟大） 水分変動増大がもたらす表層土壌の二酸化炭素放出増大：規定因子の探索
10:30	Rui Hu (Hokkaido University) Effects of fine roots existence on soil methane uptake	10:30	紺野祥平（農研機構） 夏季晴天日における果実表面温度の測定	10:30	田邊憲伸（信州大） 山岳地域の高山帯・低山帯生態系の二酸化炭素交換の特性の違い
10:45	Hitomi Wakatsuki (Institute for Agro-Environmental Sciences , NARO) Assessing the impact of the 2022 hot summer on rice grain appearance quality and effectiveness of introducing heat tolerant cultivars	10:45	鈴木 純（信州大） 摩擦速度による微細な土の粒を動かす力の評価	10:45	赤岩拓也（秋田県立大） 水蒸気濃度がCO ₂ /H ₂ Oアナライザー（LI-840A）のCO ₂ 測定値に与える影響の評価
11:00	休憩	11:00	休憩	11:00	休憩
12:00		12:00		12:00	総会
				14:30	休憩
				14:45	公開特別講演 「持続可能な社会の実現に向けた農業・気象防災学の役割」 山本晴彦（山口大学）
				15:45	休憩
				16:00	公開シンポジウム「農業のグリーン化に向けた農業気象学のアプローチ」 1）「農業気象学のアプローチによるGHGモニタリング」小野圭介（農研機構・農環研） 2）「データ駆動型農業による省力化に向けた農業気象の役割」植山秀紀（農研機構・西日本農研） 3）「地域資源を活かした省エネ温室やソーラーシェアリングの課題と展望」宮内樹代史（高知大学） 4）「都市農業研究における農業気象学の役割」佐合悠貴（山口大学）
18:30	ポスターセッション1（講演番号：奇数）				
19:15	ポスターセッション2（講演番号：偶数）				
20:00					

日本農業気象学会2023年全国大会 & ISAM2023 Program
2023年3月18日

A会場		B会場	
Chairperson: Levent Saylan (Tottori Univ.)		座長：米村正一郎（県立広島大）	
9:00	Anna Koba (Yamaguchi University) Long-term trend of precipitation in Kagoshima prefecture based on digital integration of pre-AMeDAS and AMeDAS data	9:00	戸田悠介（農研機構・農業環境研究部門） 気象モデルと統計手法を用いた全国のイネ穂温の時空間的な変動の解析
9:15	Gen Sakurai (NARO) Statistical prediction of future fruit tree yield under climate change	9:15	下田星児（農研機構・北海道農業研究センター） 小麦の雪腐病の物理的防除を可能にする地表面温度と雪踏みタイミング
9:30	Munemasa Teramoto (Tottori University) Influence of grazing on soil respiration in grassland ecosystems in Mongolia	9:30	町田 創（青森県産業技術センター） 低温遭遇量の違いがニンニク「福地ホワイト」の球形成に及ぼす影響
9:45	Weiguo Cheng (Yamagata University) Measuring the effect of elevated [CO2] on soil carbon from plant translocation in rice paddy by stable carbon isotope method	9:45	常葉 竣（静岡県立大） ウバメガシにおけるモノテルペン放出能の個体差および低放出個体の選抜
10:00	Daiyu Ito (Hirosaki University) Tree phenology and grass production of an apple orchard under elevated temperature and CO2	10:00	桐島健太郎（東京大） 一過性遺伝子発現法における遺伝子導入後のベンサミアナタバコ個体群の純光合成速度および蒸散速度
10:15	Ting-Wei Chang (University of Shizuoka) Detecting low-isoprene-emitters from oil palm (Elaeis guineensis) saplings in a nursery, Sessang, Malaysia	10:15	嶋津光鑑（岐阜大） 葉温測定値に基づく水蒸気収支法による温室換気率の算定と個体群純光合成速度の推定
10:30	休憩	座長：下田星児（農研機構・北海道農業研究センター）	
座長：安武大輔（九州大）		10:30	金谷真希（農研機構・北海道農業研究センター） バレイショの高温時における光合成応答と品種特性
10:45	中島 望（信州大） 日中における諏訪湖上の内部境界層の発達	10:45	木村建介（農研機構・農環研） ガス交換測定によるパラメータ同定を必要としない個葉光合成速度の推定モデルの検討：葉面境界層コンダクタンスの重要性
11:00	原園芳信（大阪公立大） 極夜の大規模フラックス、観測データが示す現象とその理	11:00	丸小渡我（愛媛大） プロセスモデルと実測光合成量を用いた施設栽培トマト収穫量予測
11:15	南出一樹（大阪公立大） ホット・コールドピクセル法を用いた近畿圏における広域熱収支の日変化の評価	11:15	山口洋夢（九州大） キュウリ個葉における400 - 900 nmの反射・透過・吸収スペクトルを用いた光合成能力の推定
11:30	小南靖弘（農研機構・北海道農業研究センター） 道央地域における土壌凍結深制御技術の導入可能地域マップの作製	11:30	田端爽一（県立広島大） 北極域土壌における腐植物質の化学的特性
11:45	岡 勇太（北海道大） 数値流体力学シミュレーションによる風害軽減をもたらす盛り土形状の効果の検証	11:45	山口真弘（長崎大） 高濃度CO2によるコマツナの葉の純光合成速度促進効果に及ぼす栽培環境の影響
12:00	閉会式	理事会	
12:15	休憩		
12:20			
13:50			